夢の島熱帯植物館　ニュース　vol.59　　2018年　1月

【榎本館長からのメッセージ】

夢熱配属となって早12年。「あっ!!と言う間に年末」も12回を迎えました。んっ!?という事は、干支一回りした？なんだか嬉しくなってきました♪すみません個人的な喜びで。さて、2018年は戌年！この**「戌」**という字、基は**「滅」**という文字がつかわれ、あまり良い意味ではなかったそうですが、後に親しみやすさなどから犬があてられたそうです。それからは、犬のお産が軽い事を関連付け、**「安産は戌の年の吉日」**など、おめでたい意味を持つようになったとそうです。(^o^)/めでたし、めでたし。

という事で夢の島は、2020年の東京五輪に向け、着々と会場整備も進んでいます。熱帯植物館は、例年のごとく、初開館は1月4日からです。恒例の「新春福引き」・「干支の植物展」・「多肉植物展」でスタートします！！**「戌」**にちなんだ植物を見て、福引で運を引いて、幸先の良い一年をスタートしましょう！！2018年もよろしくお願い申し上げます。　　館長

季節イベントの紹介（イベント・展示担当：関）

1月は「新春・福引き大会」でスタートします。皆様に2018年に幸運が訪れますように！！さて、企画展は人気の高い多肉植物にフォーカスする「夢の島多肉植物展」を開催します。あわせて入門者から愛好家まで必見の品ぞろえの「多肉の即売会＆相談会」もございます。年明けは寒い屋外を忘れて暖かい熱帯植物館でゆったりとしたお時間をお過ごしください。

【1月の企画展】

「夢の島多肉植物展」（1/4～1/28）

《関連イベント》「多肉の即売会＆相談会」(1/13、14、27、28)

「干支の植物展」（12/26～1/28）「夢の島カカオ＆チョコレート展」(1/30～2/25)

《季節イベント》「新年・福引き大会」(1/4、5)「ウィークエンドコンサート」(1/6、20)

「森の学校」(1/13)「ハーブの学校」(1/14)「新春トロンボーンコンサート」(1/14)

「大人のためのフラワーアレンジメント教室」(1/21)

「フォトコンテスト2018・応募期間」(1/4～3/11)

★詳しくはイベントチラシまたは夢の島熱帯植物館にお問い合わせください。

温室内で見られる植物の紹介（植物館植栽担当：横平）

ベニヒモノキは西インド諸島が原産のトウダイグサ科の常緑樹で、4 メートル程の高さになります。日本には、明治時代の終わり頃に伝わってきました。

学名はアカリファ・ヒスピダ（Acalypha　hispida）で、アカリファ属は葉を観賞するものが多い中、このベニヒモノキとキャッツテール（Acalypha　hispaniolae）は他の種と異なり、花を観賞します。

花は小形で花弁がなく、赤い穂状花序となります。これが 20～50 センチメートルくらいのひものように垂れ下がっている姿はとても美しく、そこから「ベニヒモノキ」とつけられたようです。中国名は、「狗尾紅（赤いイヌの尾）」です。また別名が「フィリピン　メドューサ」の他、「レッドホット　キャットテール」や「フォックステール」、などたくさん持っており、それだけ人々に親しまれているのがよくわかります。

ベニヒモノキは寒さに弱く、通常は温室で栽培します。熱帯の環境下では、自身が持つサイクルで花を咲かせる周年開花の植物です。

館内では、1 月は干支にちなんだ植物を展示紹介しています。干支のイヌの名前を持つ植物としてご紹介するこの時期に、ちょうど大温室では花が見ごろを迎え、たくさん咲き揃っています。

▲ ベニヒモノキ（トウダイグサ科）

今 月 の 花 と 実

▲リンコスティリス・ギガンテア

▲アメリカシャガ

▲木立アロエ

♪ この時期の人気者 ♪

新しい年を迎え、大温室の花はいきいきと鮮やか。別名ピンクボールと呼ばれる「ドンベアウォリッキー」はこの時期が見頃。小さなクス玉状の花が枝いっぱいについて見事。テキスタイルの図柄でも人気、オウム花も原色でお出迎えしてくれます。

冬晴れの日の大温室は、暖かさと美しさで、屋外とは別世界です。

【サービス券】1人1杯 コーヒー・紅茶 無料（他券併用不可）

予告：次回は 1/25 の発行予定です。